

1 教科について

国語

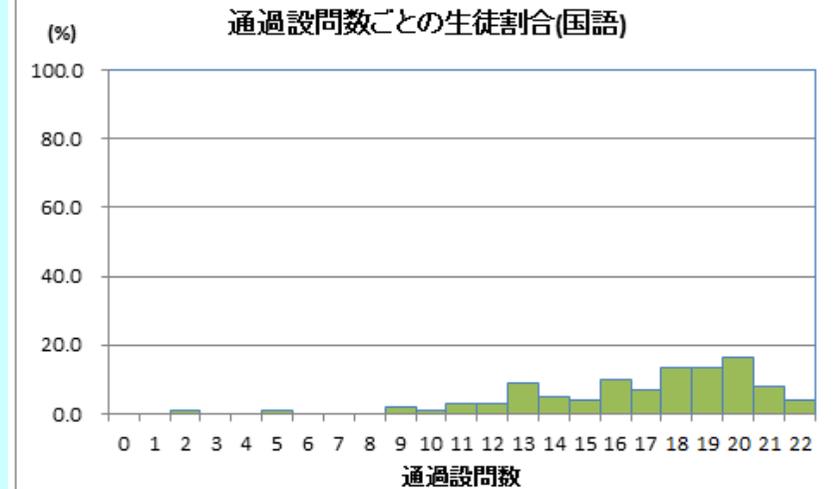
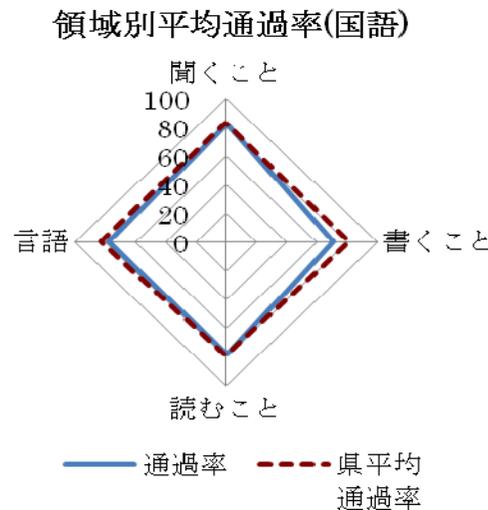
昨年度の課題

- ①「読むこと」の力の育成
「登場人物の心情把握 (21.0%)」が低い。
- ②「読むこと」の力の育成
「文章の展開の把握 (37.0%)」が低い。

昨年度の課題を受けて
具体的に取組んだ事項

- ①文学的文章の指導において、心情が表れているところに傍線を引かせるなど、全体で意見を交流し、考えを深める。
- ②文章の構成や論の展開を明確にする指導において、段落分けや段落と段落の関係・つながりを図式化して書かせる。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 77.0% 県平均 81.0%



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査
◇:全国学力・学習状況調査

- ◎・・・行書の基礎 (38.8%)
行書の特徴を正しく理解していない。
- ◎・・・意見と理由を明確にした記述 (42.7%)
問題文の読み間違いが多く、適切な答え方ができていない。
- ◎・・・事象や行為などを表す多様な語句 (43.7%)
語句の意味を正しく理解していない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①書写の時間や普段の授業内で、行書の特徴を理解させ、行書で文字を書く活動を取り入れる。
- ②発問に対して適切な答え方ができるように適宜指導する。また、「書く」活動の中で、条件にあった答え方ができるように、問いに対して正確な解答を書く学習を行う。
- ③授業で扱った作品に用いられている語句の意味を定着させる活動を工夫する。

来年度の目標値

- 「行書の基礎」について、通過率 70.0%以上にする。
- 「基礎・基本」定着状況調査で、無回答率 2.0%以下に引き下げる。
- 「事象や行為などを表す多様な語句」について、通過率 50%以上にする。

指導方法等の改善計画について

数 学

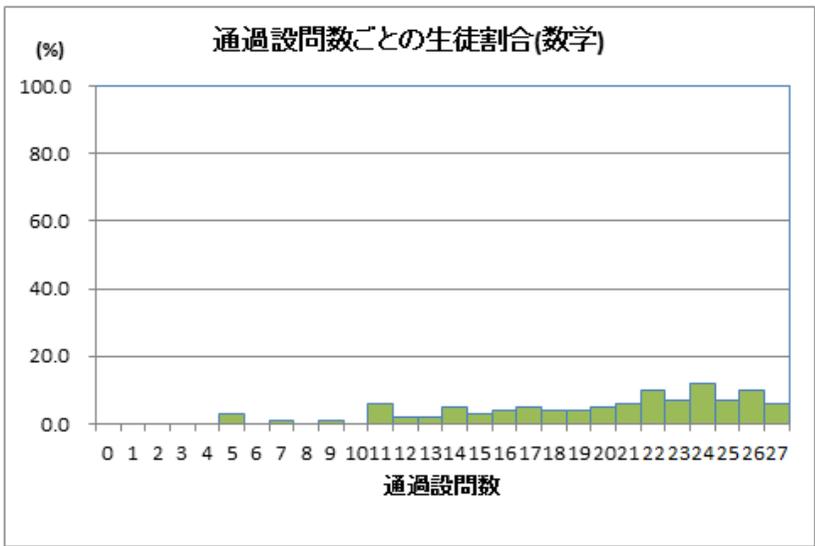
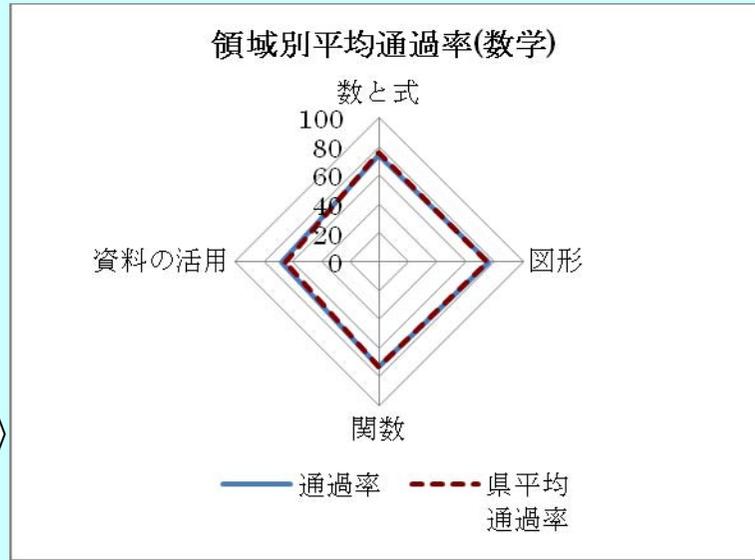
昨年度の課題

- ① 「図形」の力の育成
「垂直な面（通過率 52.9%）」が低い。立体図形を辺としては見ることが出来ているが、面として見ることが難しい。
- ② 「資料の活用」の力の育成
「相対度数の意味（通過率 31.1%）」が低い。相対度数の求め方が定着していなかった。また、計算時の位どりででのミスが目立った。

昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

- ① 数と式の分野に関しては、1 次方程式の作成など文章題を読み取る力が不十分である。グループ活動を取り入れ、教え合い活動の場面を取り入れる。
- ② 図形分野に関しては、立体図形を面として見る力が不十分である。実験・観察を通してペアやグループで意見を交流し、考えを深め合う工夫を行う。
- ③ 資料の活用分野に関しては、相対度数の求め方が定着していなかった。教科書の教材だけでなく、各自気になる資料を見つけ、資料を整理させるなど指導を工夫する。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **73.8%** 県平均 **74.1%**



重点課題 ◎: 「基礎・基本」定着状況調査 ◇: 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・1 次方程式の立式 (45.6%)
等しい物の関係を正しくとらえることができていない。
- ◎・・・正負の数の活用 (50.5%)
「加える」と書かれているのに積について解答しているものが多い。文章を正確に読みとることができていない。
- ◎・・・相対度数の意味 (50.5%)
誤答のほとんどが用語の意味を正しく理解していない解答であった。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①1 次方程式の立式については、文章の正しい読み取りが不十分である。問題文に下線を引いて整理したり、図や表などを使って数量関係を整理するなど、文章題への取り組み方を丁寧に指導する。
- ②正負の数の活用では、和と積を取り違えて解答している解答が多かった。和・差・積・商などの基本的な語句を正しく丁寧に指導する。また、根拠をもとに説明する活動を取り入れ、自らの考えを文章で表現する力を育成する。
- ③相対度数の意味については、前年度と比較して通過率が上がった。一方で、相対度数についての具体的なイメージを持っていない生徒が多い。身近な資料をもとに考えるなど、体験的な活動を取り入れる。

来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査で、通過率の学校平均を県平均及び、今年度の学校平均より高める。
- 「基礎・基本」定着状況調査で、通過率 30%以下の生徒の割合を 3.0%以下にする。

指導方法等の改善計画について

英語

昨年度の課題

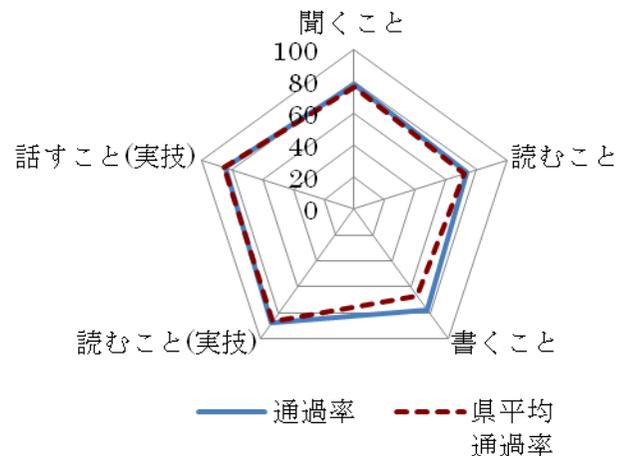
- ① 「話の流れを理解する力」に課題がある。代名詞が何を指しているのか十分に理解できていない。(通過率 38.7% 県より-15.3%)
- ② 「指示代名詞(this や that)の用法」を十分に理解できていない。(通過率 43.7% 県より-23.9%)

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

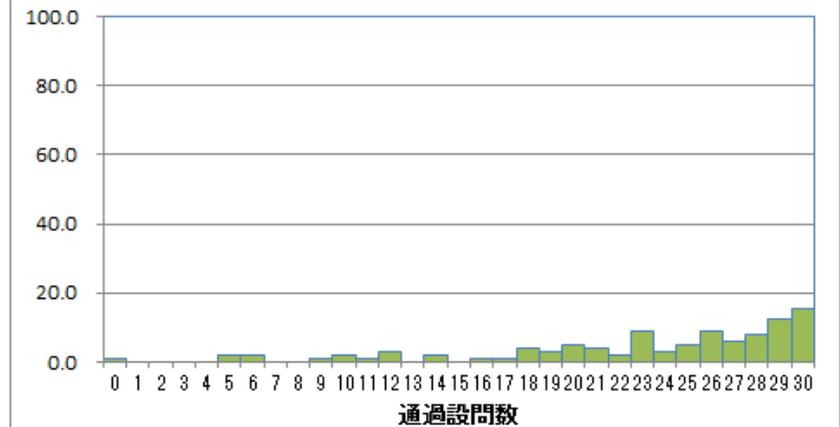
- ① 教科書の本文や短い話の中で、代名詞が何を指しているのかを問う。
小集団活動を仕組み、教え合い学習を取り入れる。
- ② 指示代名詞の説明と、それを使用した書き換えのドリル学習をおこなう。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 77.6% 県平均 74.2%

領域別平均通過率(英語)



通過設問数ごとの生徒割合(英語)



重点課題 ◎: 「基礎・基本」定着状況調査

- ◎一般動詞の疑問文と be 動詞の疑問文の作り方を区別して、理解できていない。(通過率 46.6%)
- ◎リスニング問題(質問への適切な応答)に課題がある。質問文の主語を聞き取り、代名詞に変え、適切な答えを選ぶことができていない。(通過率 61.2%)
- ◎リスニング問題で、数字の聞き取りに課題がある。(通過率 67.0%)

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①一般動詞と be 動詞のそれぞれの疑問文を作るドリル学習を行う。
新しい文法項目ができた時、既習事項を復習しながら繰り返し疑問文の作り方、答え方を確認する。
- ②Q&Aの口頭練習を、ペアで授業の最初に行う。
- ③数字を聞きとる練習、言う練習を随時授業で行う。特に間違いやすい単語については、アクセントに注意するよう繰り返し指導する。

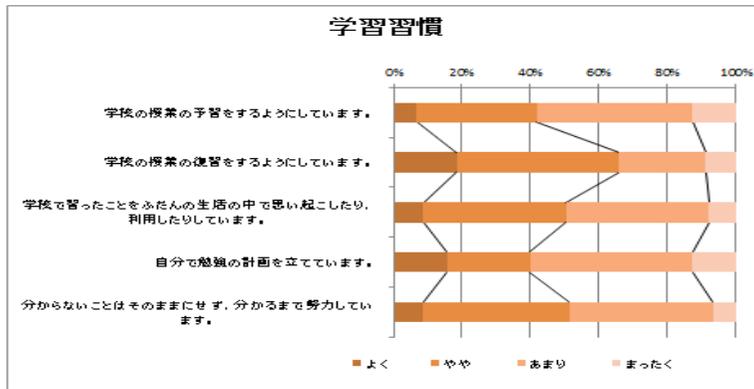
来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査で、通過率の学校平均を県平均より高める。
- 「リスニング問題」の「質問への適切な応答を選ぶ問題」で通過率 65%以上にする。
- 「一般動詞と Be 動詞の疑問文について理解し、適切な語を用いて会話文を組み立てる問題」の通過率を 50%以上にする。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，生徒質問紙）

(1) 生活・学習

自分で勉強の計画を立てています。

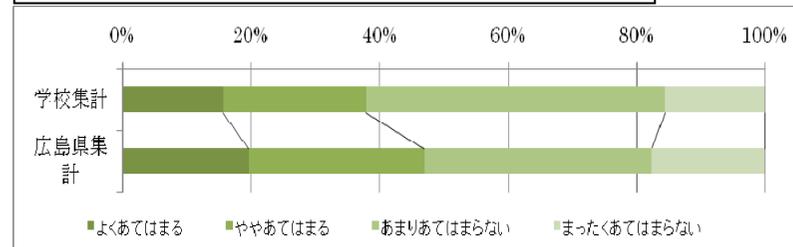


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎「自分で勉強の計画を立てています。」の回答が39.8%と低い。 ◎「家で本や資料などを利用して学習しています。」の回答が37.9%と低い。	○家庭学習の手引きを活用し、宿題のみでなく、授業の復習の仕方を指導する。 ○朝読書を継続すると共に、授業において新聞記事や図書を活用させる課題を出す。

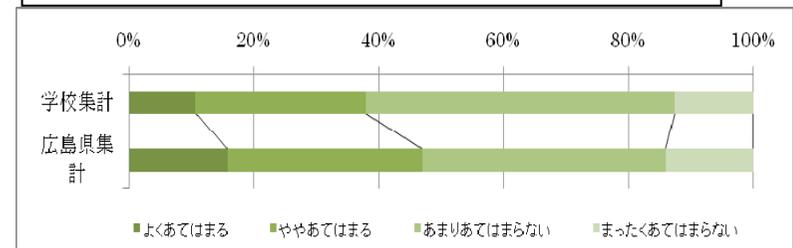
来年度の目標値	目標設定
	・「学習習慣」の領域において肯定的回答を県平均以上にする。 ・「読書活動」の領域において肯定的回答を県平均以上にする。

(2) 教科

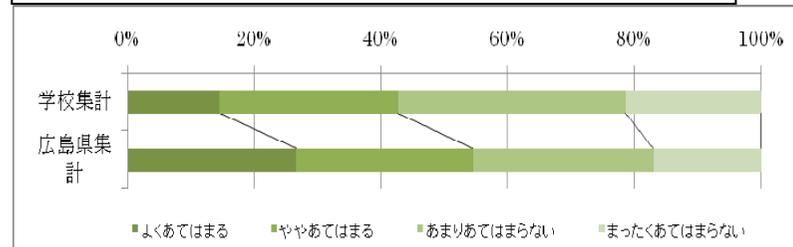
国語の授業では、漢字などのくり返し学習をするのが好きです。



数学の授業は、理由をあげて自分の考え方や解き方を説明しています。



英語の授業では、分からない単語や熟語は、辞書を使って調べています。



	生徒の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎「国語の授業を楽しみにしています。」の肯定的回答が37.9%と低い。 ◎「国語の授業では、漢字などのくり返し学習をするのが好きです。」の肯定的回答が37.9%と低い。	○生徒指導の三機能を生かした授業づくりを行い、学ぶ意欲を向上させる。 ○毎日の漢字学習と小テストを連動させ、くり返し学習することの意味を認識させるとともに充実感を与える。
数学	◎「数学の授業を楽しみにしています。」の肯定的回答が42.7%と低い。 ◎「数学の授業では、理由をあげて自分の考え方や解き方を説明しています。」の肯定的回答が37.9%と低い。	○生徒指導の三機能を生かした授業づくりを行い、学ぶ意欲を向上させる。 ○ペア・グループ活動を用いて、自分の考えを相手に説明させる機会を設ける。
英語	◎「英語の授業を楽しみにしています。」の肯定的回答が42.7%と低い。 ◎「英語の授業では、分からない単語や熟語は、辞書を使って調べています。」の肯定的回答が42.7%と低い。	○生徒指導の三機能を生かした授業づくりを行い、学ぶ意欲を向上させる。 ○分からない単語や熟語をそのままにせず、その都度辞書で調べさせる。

来年度の目標値	目標設定
	・「国語の授業では、漢字などのくり返し学習をするのが好きです。」の肯定的回答を50%以上にする。 ・「数学の授業では、理由をあげて自分の考え方や解き方を説明しています。」の肯定的回答を50%以上にする。 ・「英語の授業では、分からない単語や熟語は、辞書を使って調べています。」の肯定的回答を50%以上にする。

指導改善のための実施スケジュール

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
	Plan		Do			Check	検証	Action	Check	
	結果の分析・H23の改善計画の見直し H24の改善計画の実施							次年度の計画		
【教科】										
国語			語句の意味を定着させる取り組み・発問に対して適切な答え方・問いに対して正確な解答を書く学習							
			行書で書く活動			行書で書く活動				
数学			根拠をもとに、筋道たてて説明しあう活動							
			図や表を使って数量関係を整理する活動			身近な資料を基にした、体験的な活動				
英語			ペアやグループでのコミュニケーション活動、聞き取り、辞書の活用、疑問文とその応答文について理解を深める学習							
			聞きとりテスト		聞きとりテスト		聞きとりテスト			
【生活・学習】			家庭学習の手引きを活用し、宿題のみでなく、授業の復習の仕方を指導							
			朝読書を継続すると共に、授業において新聞記事や図書を活用させる課題を設定							